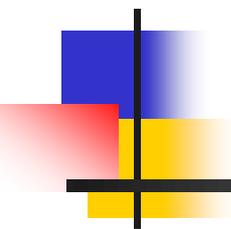


i.MX & Android With Module





〒101-0052
東京都千代田区神田小川町2-6
大宮第2ビル
TEL 03-5577-6200
URL: <http://www.terasolution.jp/>
Mailaddress: info@terasolution.jp



ユーザーと営業の現場は

- ユーザーさんも自社の営業さんも、スマホやTabletを普通に使いAndroidやIOSを知ってたりしませんか？ でそれを簡単比べてくれて、“なぜこんな感じで動かないの？”とか“え～、今時マルチタッチできないの？うそ！” などと言ってくれます。
- そうじゃなくても、近年の製品は画面サイズ・解像度は大きく、UIは複雑に、有線・無線LANなどネットワークは必須で、高度なSOCとOSを使うしか無いのはわかってるけど、Androidで開発ってどうやるのでしょうか？
- ルネサスとiTRONなら外注できるけど許してもらえないだろうし、知り合いの会社が2年前に使ったWindowsCEはどうなの？ 凄い費用と時間がかかったらしいけど。 あ～MobilePhone版Windows8版と切れてるんだ。 あと2年待てば使えそうだけど、2年は待てないですよ。



システム開発の現場は

- その一方で、1機種あたり数量も生産ロットも減らされ、生産スケジュールも開発費用枠もタイトで、なのに開発期間は短くされて、開発費用も開発期間も負担の大きな、自社でのフルカスタム開発の余裕など、あるわけないですよ？
- かと言ってODMに丸投げしようにも、交渉の経験も無く発注できる数量も少なく、既存製品の仕様やインターフェースを変えるのも大変で、要するに時間も費用もないのが実情。
アプリ開発のサポートとかまで、海外のベンダーがやってくれとも思えませんよね？ で実際全くやってくれません。
- 以前のルネサス+iTRONが懐かしいですね。あれならHWの設計も自分できるし、OSとIO周りのカスタマイズは外注できそうだし、アプリの開発も外注と自社のシフト屋でできるし、でも時代が許さないのはわかっています。



これならなんとか。

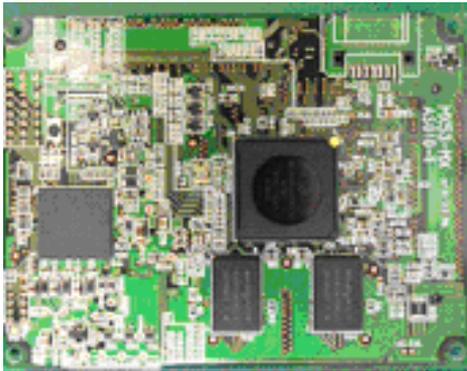
- アプリだけなら、書店には一杯アプリの本があるし、聞いたらAndroidで書くのは操作表示だけで、通信やIO処理は昔からのLinux型でいいらしい。最近では画面操作もQtで作るのが流行りらしく、Windows上で開発してそのままAndroidでも動くらしい。だったらAndroidが動いているのを、サポート付きで用意しようと思いますよね。
- で、OSも開発環境も標準で付いてくるPiggy-Back型CPUモジュールが、プロトタイプがすぐ作れそうで、ハードウェアのカスタマイズと並行にアプリの開発ができそうで、スケジュールの短縮と開発費の低減が両立できそうな選択肢として、注目されるんです。
- で私達も、産機や医療機を主なターゲットと開発した標準モジュールを複数用意しました。Carryとドライバーのカスタマイズは当社が行い、ユーザーはアプリ開発に徹することで、驚くほど短期間にしかも廉価に製品を立ち上げることができています。



当社の売り込み文句

- 私達は、設計の参考を兼ねて最初のCarryの設計を行い、既存製品の特殊なインターフェースなど、全てCarryとドライバーで吸収しますので、ユーザーは自分のアプリケーションに特化できています。
- 医療器・産機では1品種の数は少ないが、周辺機器などが違うバリエーションが複数ある場合が多く見受けられますが、このような場合にモジュール型の場合、Carryとドライバーの変更に応用の作る分けだけで、低コストで対応が可能です。
- 共通に使われるCPUモジュールは、多くの実績により潜在的な問題点への対処(CPUチップ/OS自体の問題を含め)も可能になります。また在庫やコストについても専用品ではないことで柔軟に対応できます。

モジュールベース組み込みシステム例



i.MX535 Android対応モジュール型
CPUボード MX535-MX 量産中



i.MX512 Android対応モジュール型CPUボード
MX512-MX 生産は終了しました

i.MX6Solo/DI/D/Q Android対応モジュール型
CPUボード MX6X-MX サンプル10月予定